

3 小児医療体制、心身の健康等についての情報提供やこころのケア

現状と課題

- 北部保健医療圏においては、小児科医の高齢化や後継者不足により、医師不足が喫緊の課題です。小児医療体制の維持はもちろんのこと、市が行う乳幼児健診事業の適正な推進のため、小児科医の確保が求められています。
- 性感染症は、10～14歳でも感染者がおり、15～19歳になると感染者が大きく増えることがわかっています¹。本市においても、小・中学生といった若年期からの性教育の必要性は高いと考えられます。
- 性的指向とジェンダーアイデンティティの多様性に関して、国民の理解を進めるための法律が施行されています²。

小児医療体制の確保

夜間や休日などのこどもの救急医療に対応するため、地域連携小児救急センターにおいて診療を行います。また、小児科医の確保のための施策を展開します。

施策の方向

若年期の性教育の実施

若年期からの性に関する正しい知識の普及を目的として、小・中学生を対象に、医師等による講演会等を実施、性教育を行います。

心の教育

道徳および全教育活動の中で、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。

1 厚生労働省「性感染症報告数」。

2 「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」令和5年6月23日施行。

3 青年期

1 就労のための支援

現状と課題

- こども大綱では、地域にかかわらず、経済的な不安がなく、良質な雇用環境のもとで将来への展望を持って生活できるようにすることや、地方において若者や女性が活躍できる環境を整備することが必要であるとしています。
- こども・若者アンケートの結果による居住意向では、今後も本市に「住み続けたい」が 59.1%と最も多く、「進学や就職で市外に出ても戻ってきたい」が 14.4%となっています。7割以上の人が本市での現在ないし将来の暮らしを希望しており、自由意見の「住み続けたいと思わない理由」も確認しながら、居住意向が上向きような取り組みを検討することも大切です。
- 唐津市こども・若者ヒアリング～からつっこVOICE～の中でも、10代から30代の各年代のグループで「就職先の選択肢が少ない」「収入が低い」など就職や賃金についての意見が多く聞かれ、「就職により唐津を離れ、若者が少なくなっている印象」があり、人口減少対策の観点からも商工振興や企業誘致のニーズが高いことが伺えます。

起業支援

起業を希望する人に対しセミナーや、相談窓口の情報提供を行います。

就労支援

施策の方向

中小企業の経営基盤の安定化を図り継続的な就労機会を確保するとともに、企業と求職者がマッチングする機会を創出します。

企業立地の促進

若い世代のニーズに合わせた企業を積極的に誘致し、若い世代が意欲的に働けるまちを目指します。

具体的な取り組み

地域経済を牽引する企業創出のための環境整備

1

- 創業支援計画実施による相談窓口、創業セミナーの充実を図ります。
- スタートアップセミナーを実施し、スタートアップコミュニティの形成を促します。
- 創業・経営相談窓口の利用者や創業セミナー参加者へのフォローアップの強化を図ります。

商工振興課

中小企業・小規模企業の活性化

2

- 商工団体が実施する経営改善に向けた取組などを支援することで、中小企業等の経営安定化、経営基盤の強化、雇用の確保を推進します。
- 資金面における負担軽減を図るため、市内金融機関に原資の預託を行い、中小企業等への融資を促進します。

商工振興課

唐津市合同企業相談会&面接会

3

- 企業と求職者のマッチング機会を創出するため、ハローワークと連携し合同企業就職相談会を開催します。

就業推進室

企業立地の促進

4

- 工業団地への製造業系企業の誘致に加え、若い世代のニーズに合わせたIT関連企業などの事務系企業を積極的に誘致し、市民の雇用の受け皿となる企業を増やし、若い世代が意欲的に働けるまちを目指します。

企業立地課

製造業系企業誘致の推進

5

- 多くの雇用が見込める製造業系企業の誘致を推進し、労働力の市外流出について防止を図ります。
- 民有地等を活用し、企業の受け皿創出に取り組みます。

企業立地課

農林水産業における後継者・担い手の育成

6

- 新規就農者の支援、人材育成、異業種からの参加促進の取組を推進します。
- 林業において、若い担い手を確保するためのイメージアップや森林の価値向上を図ります。
- 他地域・他産業からの新規漁業者の確保、ICTを活用したスマート漁業の推進による漁家経営の安定化を図ります。

農政課／農地林務課／水産課

本計画の指標

本計画の計画期間に、基本理念（第3章）で目指す姿にどれだけ近づけたかを評価するため、取り組みの成果を点検する指標を設定します。

■こども・若者

成果指標	目標・指標(令和11年)		出典(時点)
「今の自分が好きだ」と思う こども・若者の割合 (自己肯定感の高さ)	現状	77.2%	唐津市こども・若者アンケート (2025年度)
	目標	現状維持	※こども大綱(国)目標値は70%
	(参考) 国	60.0%	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」 (2022年)
「自分の将来について明るい希望がある」と思うこども・若者の割合	現状	74.2%	唐津市こども・若者アンケート (2025年度)
	目標	80.0%	※こども大綱(国)目標値は80%
	(参考) 国	66.4%	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」 (2022年)
「自分には『自分らしさ』がある」と思うこども・若者の割合	現状	88.5%	唐津市こども・若者アンケート (2025年度)
	目標	90.0%	※こども大綱(国)目標値は90%
	(参考) 国	84.1%	こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」 (2022年)
「自分の意見や考えは、まわりの大人にきちんと聞いてもらえている」と思うこどもの割合	現状	小学5年生 79.6% 中学2年生 76.6%	唐津市こどもの生活アンケート (2023年度)
	目標	増加させる	

■子育て当事者

成果指標	目標・指標(令和11年)		出典(時点)
「こどもとの生活が楽しい」と思う保護者の割合	現状	就学前保護者 97.8% 小学生保護者 98.0%	唐津市子ども・子育て支援に関するアンケート(就学前保護者・小学生保護者) (2023年度)
	目標	現状維持	
子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる人が「いない」保護者の割合	現状	就学前保護者 1.6% 小学生保護者 1.9%	唐津市子ども・子育て支援に関するアンケート(就学前保護者・小学生保護者) (2023年度)
	目標	減少させる	

■唐津市での暮らし

成果指標	目標・指標(令和11年)		出典(時点)
「今後も唐津市に住み続けたい」「進学や就職で市外に出ても戻ってきたい」と思う子ども・若者の割合	現状	73.5%	唐津市子ども・若者アンケート (2025年度)
	目標	増加させる	
「今後も唐津市で子育てをしていきたい」と思う保護者の割合	現状	就学前保護者 77.9% 小学生保護者 77.9%	唐津市子ども・子育て支援に関するアンケート(就学前保護者・小学生保護者) (2023年度)
	目標	増加させる	